

## 情報公開に関する事項

### 【設置者に関する情報】

- ①設置者の名称及び所在地並びに連絡先：愛知県教育委員会  
名古屋市中区三の丸三丁目1の2  
052-961-2111

### 【福祉系高校に関する情報】

- ①名称、住所及び連絡先：愛知県立古知野高等学校  
愛知県江南市古知野町高瀬1  
0587-56-2508
- ②福祉系高校等の校長の氏名：嶋田 麻知代
- ③開設年月日：平成21年4月1日
- ④学則等

学則の主な項目	留意点
設置目的	この学科を卒業した者は、介護福祉士国家試験の受験資格を取得できることを目的とする
修業年限	3年
学年、学期、休日	○学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる ○学年を原則として次の3学期に分ける 第1学期 4月1日から8月31日まで 第2学期 9月1日から12月31日まで 第3学期 1月1日から3月31日 ○休日 次の日は、授業を行わない日とする。ただし、事情によって変更することがある。 国民の祝日に関する法律による休日、日曜日及び土曜日 夏季休業日 7月22日～8月31日 冬季休業日 12月24日～翌年1月6日 春季休業日 3月21日～4月5日 その他 県教育委員会の指示した日及び許可した日
休学、退学、復学、編入学	○休学 病気その他やむを得ない理由により引き続き三ヶ月以上欠席しようとするときは、保護者連署の上、その理由を証する書面を添えて、校長に休学を願い出なければならない。校長は願い出がやむを得ないと認めるときは、一年以内の期間を限り、休学を許可することができる。 ○退学 退学をしようとするときは、その理由を附して保護者連署のうえ、校長に願い出なければならない。 ○復学 休学期間の中で復学を願い出する場合のほか、休学期間が満了して復学する場合についても復学願を提出しなければならない。 ○編入学 欠員があり、介護福祉士養成課程を修了できる見込みがある場合に限り第2学年または第3学年の学年始めに編入を認めることがある。

<p>学習の評価（成績考査） 課程の修了の認定（卒業）</p>	<p>○履修（出席時間数で評価） 各科目とも法定時数に対して出席時間数が2／3に満たない者に対して、履修を認定しない。ただし、授業時間数は1単位当たり35時間とする。</p> <p>○修得（考査等で評価） 各科目とも履修の成果がその科目の目標からみて満足できるとき、単位の修得を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査 原則として年5回の定期考査を実施する。</li> <li>・追考査 1学期末、2学期末および学年末において修得が危ぶまれる生徒を対象に、該当科目の補充授業をした後、追考査（追認考査）を実施する。</li> </ul> <p>○卒業 校長は全課程を修了したと認めた者に卒業証書を授与する。</p> <p>○その他 「介護実習」においては、欠席時数が法定時数の五分の一を越えた者には、修得を認定しない。ただし、授業時間数は1単位当たり35時間とする。</p>
<p>教職員の組織</p>	<p>校長(1人) 教頭(2人) 教諭等(50人) 事務長(1人) 主査(1人) 主任(2人) 等 この内福祉科専任教員3人</p>
<p>賞罰</p>	<p>○学校は、他の模範となる生徒を表章する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 皆勤賞</li> <li>2 その他の賞</li> </ol> <p>○教育上必要と認めた場合次の方法で生徒を懲戒する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓戒</li> <li>2 謹慎</li> <li>3 停学</li> <li>4 退学</li> </ol>

### ⑤施設設備の概要

使用教室の名称及び面積など

教室等の名称	面積	備考	教室等の名称	面積	備考
普通教室1	66.357 m <sup>2</sup>		食物実習室1	217.07 m <sup>2</sup>	学内共用
普通教室2	66.357 m <sup>2</sup>		食物実習室2	139.36 m <sup>2</sup>	学内共用
普通教室3	66.357 m <sup>2</sup>		被服実習室1	137.97 m <sup>2</sup>	学内共用
看護実習室	146.82 m <sup>2</sup>		被服実習室2	99.35 m <sup>2</sup>	学内共用
看護実習室（和室）	21.82 m <sup>2</sup>		男子更衣室	11.5 m <sup>2</sup>	
介護実習室	170.15 m <sup>2</sup>		女子更衣室	16.55 m <sup>2</sup>	
入浴実習室	143.17 m <sup>2</sup>		第1 ワークプロ室	91.98 m <sup>2</sup>	学内共用
リハビリテーション室	130.12 m <sup>2</sup>		第2 ワークプロ室	103.68 m <sup>2</sup>	学内共用
福祉準備室	66.36 m <sup>2</sup>		図書室	197.1 m <sup>2</sup>	蔵書：21583 冊

【養成課程に関する情報】

①養成課程の教育課程表（平成27年度入学生より）

教科	科目	標準 単位数	第1学年	第2学年	第3学年	計	備考
国語	国語総合	4	4 (140)			4 (140)	△
	現代文	4		2 (70)	2 (70)	4 (140)	
地理 歴史	世界史A	2		2 (70)		2 (70)	
	地理A	2			2 (70)	2 (70)	
公民	現代社会	2	2 (70)			2 (70)	
数学	数学I	3	2 (70)	2 (70)		4 (140)	
	数学A	2			2 (70)	2 (70)	
理科	科学と人間生活	2	2 (70)			2 (70)	
	化学基礎	2					
	生物基礎	2			2 (70)	2 (70)	
保健 体育	体育	7~8	2 (105)	2 (70)	3 (70)	7 (245)	
	保健	2					
芸術	音楽I	2		2 (70)		2 (70)	
外国語	コミュニケーション英語I	3	3 (105)			3 (105)	
	コミュニケーション英語II	4		2 (70)		2 (70)	
	英語表現I	4			2 (70)	2 (70)	
※ 家庭	家庭総合	4	2 (70)	2 (70)		4 (140)	
福祉	人間と社会	社会福祉基礎○	4	2 (70)	2 (70)		4 (140)
	介護	介護福祉基礎○	5	2 (70)	3 (105)		5 (175)
		コミュニケーション技術○	2		1 (35)	1 (35)	2 (70)
		生活支援技術○	10	3 (105)	2 (70)	5 (175)	10 (350)
		介護過程○	4		2 (70)	2 (70)	4 (140)
		介護総合演習○	3	1 (35)	1 (35)	1 (35)	3 (105)
		介護実習○	13	2 (70)	5 (175)	6 (210)	13 (455)
	こころとからだのしくみ	こころとからだの理解○	8	3 (105)	2 (70)	3 (105)	8 (280)
	福祉情報活用	2			2 (70)	2 (70)	
* 普通科目計			17 (595)	14 (490)	13 (455)	44 (1540)	◎
* 専門科目計			13 (455)	18 (630)	20 (700)	51 (1785)	
特別活動	ホームルーム活動		1 (35)	1 (35)	1 (35)	3 (105)	
総合的な学習の時間			0	0	0	0	
計			31 (1085)	33 (1155)	35 (1190)	98 (3430)	

△ 保健は「こころとからだの理解」の履修をもって替える。

◎ 総合的な学習の時間は、介護総合演習の履修をもって替える。

○ 介護福祉士国家試験の受験資格に必要な福祉に関する所定の単位数を履修する。

※ 人間と社会に関する選択科目（家庭）を福祉系高等学校ごとに選択して、科目の内容及び時間を設定する。

②生徒定員・学級数：1学年 1学級（定員40人）

③入学までの流れ（募集、申し込み、資料請求先）

- ・入学時期：入学式は原則として4月6日とする
- ・入学資格：学校教育法第57条の規定により高等学校に入学できる者 以下参照

【学校教育法第57条】

高等学校に入学することのできる者は、中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者若しくは中等教育学校の前期課程を修了した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。

- ・入学者の選考：愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項による
- ・入学手続：愛知県立高等学校学則第六条による 以下参照

【愛知県立高等学校学則第六条】

高等学校に入学しようとする者は、入学願書を校長に提出しなければならない。

- 2 前項の規定により入学願書を提出するときは、愛知県手数料条例（平成十二年愛知県条例第二十号）の定めるところにより、入学検定料を納付しなければならない。ただし、入学検定を受検しない場合は、この限りでない。
- 3 入学の許可を受けた者は、愛知県立学校条例（昭和三十九年愛知県条例第二十五号）の定めるところにより、入学科を納付しなければならない。

④費用

- ・入学検定料（2,200円）
- ・入学科（5,650円）入学を許可された者は、指定された日に納入する。

⑤科目別担当教員名 ⑥使用する教材

科目	担当者	使用する教材
社会福祉基礎	林 真由美 江本聖志朗 池上 万二	社会福祉基礎（実教出版） 新・介護福祉士養成講座 第1巻 人間の理解（中央法規） 新・介護福祉士養成講座 第2巻 社会と制度の理解（中央法規）
介護福祉基礎	岩城 令佳 若山 沙織 走出 真人 江本聖志朗	介護福祉基礎（実教出版） 新・介護福祉士養成講座 第3巻 介護の基本Ⅰ（中央法規） 新・介護福祉士養成講座 第4巻 介護の基本Ⅱ（中央法規） 新・介護福祉士養成講座 第8巻 生活支援技術Ⅲ（中央法規） 新・介護福祉士養成講座 第13巻 障害の理解（中央法規）
コミュニケーション技術	走出 真人 江本聖志朗 石黒 智美	コミュニケーション技術（実教出版） 新・介護福祉士養成講座 第5巻 コミュニケーション技術（中央法規）
生活支援技術	岩城 令佳 林 真由美 若山 沙織 政池 祐子 中島ひろみ 青木利希子	生活支援技術（実教出版） 新・介護福祉士養成講座 第6巻 生活支援技術Ⅰ（中央法規） 新・介護福祉士養成講座 第7巻 生活支援技術Ⅱ（中央法規） 新・介護福祉士養成講座 第8巻 生活支援技術Ⅲ（中央法規） 新・介護福祉士養成講座 第15巻 医療的ケア（中央法規）
介護過程	岩城 令佳 林 真由美 走出 真人 江本聖志朗	介護過程（実教出版） 新・介護福祉士養成講座 第9巻 介護過程（中央法規）

介護総合演習	岩城 令佳 林 真由美 若山 沙織 走出 真人 江本聖志朗	新・介護福祉士養成講座 第10巻 介護総合演習・介護実習 (中央法規)
介護実習	岩城 令佳 林 真由美 若山 沙織 走出 真人 江本聖志朗	新・介護福祉士養成講座 第10巻 介護総合演習・介護実習 (中央法規)
こころとからだの理解	林 真由美 若山 沙織 走出 真人 江本聖志朗 池上 万二 石黒 智美 小林 里奈	こころとからだの理解 (実教出版) 新・介護福祉士養成講座 第11巻 発達と老化の理解 (中央法規) 新・介護福祉士養成講座 第12巻 認知症の理解 (中央法規) 新・介護福祉士養成講座 第14巻 こころとからだのしくみ (中央法規)

⑦教材

福祉用語辞典

⑧介護実習施設等の名称、住所及び事業内容

名 称	住 所	事業内容
特別養護老人ホーム ユートピアつくも	名古屋市中区新栄3丁目32番17号	介護保険事業
特別養護老人ホーム 庄内の里	名古屋市西区中小田井2丁目98番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム ジョイフル江南	江南市河野町五十間59番地	介護保険事業
介護老人保健施設 フラワーコート江南	江南市河野町五十間4番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム 第2ジョイフル江南	江南市河野町五十間51番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム 御桜乃里	丹羽郡大口町下小口6丁目124番地の2	介護保険事業
特別養護老人ホーム 岩倉一期一会荘	岩倉市北島町二本木7番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム あいふるの里	一宮市浅井町西海戸字余陸寺45番地1	介護保険事業
特別養護老人ホーム 五条の里	北名古屋市鍛冶ヶ一色鍛冶前10番地	介護保険事業
介護老人保健施設 フローレンス犬山	犬山市大字羽黒新田字下蟬屋7-1	介護保険事業
特別養護老人ホーム ゆうあい	小牧市小木南二丁目88番	介護保険事業
特別養護老人ホーム 扶桑苑	丹羽郡扶桑町大字山那字番所下83-5	介護保険事業

大口一期一会荘 デイサービスセンター	丹羽郡大口町大屋敷3丁目207番地	老人デイサービス事業
愛生苑 デイサービスセンター	名古屋市北区五反田町108番地の2	老人デイサービス事業
デイサービス エブリディ浅井	一宮市浅井町黒岩字宮東7番地1	老人デイサービス事業
庄内の里 第2デイサービスセンター	名古屋市西区中小田井3丁目389番地	老人デイサービス事業
指定障害者支援施設 ふじの木園	江南市河野町五十間88番地	障害福祉サービス事業
指定障害福祉サービス事業所 ときわ作業所	江南市後飛保町高瀬69番地	障害福祉サービス事業
障害福祉サービス事業所 くるみの里	江南市後飛保西町61番地	障害福祉サービス事業
障害福祉サービス事業（生活介護） たけのこ作業所	江南市松竹町切野94番地	障害福祉サービス事業
生活介護・就労継続支援B型の多機能事業所 いわさき授産所	小牧市大字岩崎1345番地4	障害福祉サービス事業
障害福祉サービス事業所いずみ更生園	一宮市浅井町西浅井字式軒家50番地1	障害福祉サービス事業

## ⑨介護実習の内容及び特徴

### 障害者施設実習要綱

#### 1 障害者施設実習の目的

##### (1) 障害者施設実習の目標

障害者施設の機能、役割を体験的に学ぶ。また、利用者理解に努め、個々に合った介助・援助の方法を理解する。

##### (2) 障害者施設実習の内容

障害者施設での利用者の生活、職員の方の業務内容を見学や体験を通じて理解する。また、利用者の障害の種類や程度に応じた介護技術の方法、利用者の状態に応じたコミュニケーション技術など個別性を重視した援助を理解する。

#### 2 障害者施設実習のスケジュール

第1学年 8月第1週または第3週（4日間）

#### 3 障害者施設実習の心得・注意事項

##### (1) 事前準備

###### 1) 学習面

社会福祉基礎・介護福祉基礎・など学校で学んだ知識と技術を確認し、実習生としてふさわしい態度を身につける。

###### 2) 実習の準備

服装：実習服、運動靴

持ち物：ハーフパンツ、入浴介助後の着替え、タオル、帽子、水筒、弁当、メモ帳、筆記用具、バッグ

###### 3) 生活面

規則正しい生活を送り、体調管理に努める。また、実習生としてふさわしい服装や言葉遣い、マナーを身につける。

##### (2) 実習中

移動手段は自転車及び公共交通機関を利用し、緊急なことがあれば実習担当者と教員に連絡することを忘れない。実習時間中は指導者の指示に従い、すぐに質問するように心掛け、実習生としてふさわしい態度で臨む。

##### (3) 注意事項

事前指導を通して指導されたことを守り、社会の一員としてふさわしい行動をとるように心掛ける。

## デイサービス実習要綱

### 1 デイサービス実習の目的

#### (1) デイサービス実習の目標

デイサービスの意義や具体的サービス内容を体験的に学び、在宅生活者への日常生活支援のあり方について理解する。また、レクリエーション技術など介護の関連知識・技術の習得を図る。

#### (2) デイサービス実習の内容

デイサービスに通う利用者との交流を通じて、デイサービスの意義や在宅生活者への日常生活支援のあり方について理解する。また、レクリエーションなどの具体的サービス内容を体験し、関連知識・技術を習得する。

### 2 デイサービス実習のスケジュール

第1学年 1月第4週（5日間）

### 3 デイサービス実習の心得・注意事項

#### (1) 事前準備

##### 1) 学習面

学校で学んだ知識・技術や実習生としての心得・マナーなどの再確認を行い、実習へ向けての意識を高めていく。

##### 2) 実習の準備

服 装：実習服、ナースシューズ（入浴介助時は体操服）

持ち物：ハーフパンツ・入浴介助後の着替え・タオル・帽子・水筒・弁当・バッグ・メモ帳

##### 3) 生活面

規則正しい生活を送り、体調管理に努める。また、実習をさせて頂くのにふさわしい服装や言葉遣い、マナーを日頃から身に付けておく。

#### (2) 実習中

移動手段は自転車及び公共交通機関を利用し、緊急なことがあれば実習担当者と教員に連絡を行うことを忘れない。実習時間中は指導者の指示に従い、すぐに質問するように心掛け、実習生としてふさわしい態度で臨む。

#### (3) 注意事項

事前指導において指導されたことを守り、社会の一員としてふさわしい行動を取るように心掛ける。



## 施設実習第1段階要綱

### 1 施設実習第1段階の目的

#### (1) 施設実習第1段階の目標

学校で学んだ知識に基づいて利用者との人間的な関わりを深め、利用者が求めている介護のニーズを理解する。また、利用者のニーズに対し施設や職員が果たすべき役割を理解する。

#### (2) 施設実習第1段階の内容

コミュニケーションが比較的可能な利用者との人間的なふれ合いを通じて、利用者の介護のニーズを理解する。また、学校で習得した知識や技術を施設で展開することを通じ、介護の機能や施設職員の役割について理解し、知識・技術を理解する。

### 2 施設実習第1段階のスケジュール

第2学年 7月第4週～7月第5週（日を除く10日間）

### 3 施設実習第1段階の心得・注意事項

#### (1) 事前準備

##### 1) 学習面

学校で学んだ知識・技術や実習生としての心得・マナーなどの再確認を行い、介護実習へ向けて意識を高めていく。

##### 2) 実習の準備

服 装：実習服、ナースシューズ（入浴介助時は体操服）

持ち物：ハーフパンツ・入浴介助後の着替え・タオル・帽子・水筒・弁当・バッグ・メモ帳

##### 3) 生活面

規則正しい生活を送り、体調管理に務める。また、実習をするのにふさわしい服装や言葉遣い、マナーを日頃から身に付けておく。

#### (2) 実習中

移動手段は自転車及び公共交通機関を利用し、緊急なことがあれば実習担当者と教員に連絡を行うことを忘れない。実習時間中は指導者の指示に従い、すぐに質問するように心掛け、実習生としてふさわしい態度で臨む。

#### (3) 注意事項

事前指導において指導されたことを守り、社会の一員としてふさわしい行動を取るよう心掛ける。

## 施設実習第2段階要綱

### 1 施設実習第2段階の目的

#### (1) 施設実習第2段階の目標

利用者に対して共感的な援助を行うことを目標とし、学校で習得した知識や技術を応用展開し、専門職として必要な態度と能力を養う。また、福祉関連職種との連携のあり方を理解する。

#### (2) 施設実習第2段階の内容

第1段階で学んだことを生かし、専門職として必要な態度と能力を養う。また、カンファレンスへの参加等を通じて、他職種との連携の必要性やそのあり方について理解する。

### 2 施設実習第2段階のスケジュール

第2学年 11月第1週～11月第2週（土日・祝日を除く9日間）

### 3 施設実習第2段階の心得・注意事項

#### (1) 事前準備

##### 1) 学習面

学校や施設実習第1段階での学びで学んだ知識・技術、実習生としての心得・マナーなどの再確認を行い、介護実習へ向けて意識を高めていく。

##### 2) 実習の準備

服装：実習服、ナースシューズ（入浴介助時は体操服）

持ち物：ハーフパンツ・入浴介助後の着替え・タオル・帽子・水筒・弁当・バッグ・メモ帳

##### 3) 生活面

規則正しい生活を送り、体調管理に務める。また、実習するのにふさわしい服装や言葉遣い、マナーを日頃から身に付けておく。

#### (2) 実習中

移動手段は自転車及び公共交通機関を利用し、緊急なことがあれば実習担当者と教員に連絡を行うことを忘れない。実習時間中は指導者の指示に従い、すぐに質問するように心掛け、実習生としてふさわしい態度で臨む。

#### (3) 注意事項

事前指導において指導されたことを守り、社会の一員としてふさわしい行動を取るように心掛ける。

## 施設実習第3段階—1要綱

### 1 施設実習第3段階—1の目的

#### (1) 施設実習第3段階—2の目標

介護過程展開における実習生の態度及び心構えについて理解する。また、介護過程展開に向けてICFの理念を理解し、利用者の情報収集を積極的に行う態度を養うとともに、他職種協働を基本にした具体的内容と方法を学ぶ。

#### (2) 施設実習第3段階—1の内容

事前指導において、実習の意義・目標を理解する。また、介護過程展開に向けて、利用者と積極的に関わり、受け持ち利用者を実習担当者と決定する。アセスメント等を通して得た利用者の情報をもとに、介護上の課題・ニーズを明確化し、介護計画の実践ができるよう介護過程を展開する。

### 2 施設実習第3段階—1のスケジュール

第3学年 6月第1週～6月第2週（土日を除く10日間）

### 3 施設実習第3段階—1の心得・注意事項

#### (1) 事前準備

##### 1) 学習面

学校で学んだ知識・技術や実習生としての心得・マナーなどの再確認を行い、介護実習へ向けて意識を高めていく。

##### 2) 実習の準備

服装：実習服、ナースシューズ（入浴介助時は体操服）

持ち物：ハーフパンツ・入浴介助後の着替え・タオル・帽子・水筒・弁当・バッグ・メモ帳

##### 3) 生活面

規則正しい生活を送り、体調管理に努める。また、実習をするのにふさわしい服装や言葉遣い、マナーを日頃から身に付けておく。

#### (2) 実習中

移動手段は自転車及び公共交通機関を利用し、緊急なことがあれば実習担当者と教員に連絡をすることを忘れない。実習時間中は指導者の指示に従い、すぐに質問するように心掛け、実習生としてふさわしい態度で臨む。

#### (3) 注意事項

事前指導において指導されたことを守り、社会の一員としてふさわしい行動を取るよう心掛ける。

## 施設実習第3段階—2要綱

### 1 施設実習第3段階—2の目的

#### (1) 施設実習第3段階—2の目標

介護過程展開における実習生の態度及び心構えについて理解する。そして、ICFの理念を基に介護計画を実施し、発展的介護力を養う。他職種協働を基本にした具体的内容と方法を学び、自らの進路選択に向けて積極的に実習を行う。

#### (2) 施設実習第3段階—2の内容

事前指導において、実習の意義・目標を理解する。アセスメント等を通して立てた介護計画の実践を行うとともに、適宜再アセスメントを行い、実習指導者の指示に従いながら介護過程を展開していく。また、最終段階ではその評価を行い、介護過程の一連の流れを実践を通して理解する。

### 2 施設実習第3段階—2のスケジュール

第3学年 8月第2週～8月第4週（土日を除く14日間）

### 3 施設実習第3段階—2の心得・注意事項

#### (1) 事前準備

##### 1) 学習面

学校で学んだ知識・技術や実習生としての心得・マナーなどの再確認を行い、介護実習へ向けて意識を高めていき、介護計画の見直しを行い、実践に向けて取り組む。

##### 2) 実習準備

服装：実習服、ナースシューズ（入浴介助時は体操服）

持ち物：ハーフパンツ・入浴介助後の着替え・タオル・帽子・水筒・弁当・バッグ・メモ帳

##### 3) 生活面

規則正しい生活を送り、体調管理に努める。また、実習をするのにふさわしい服装や言葉遣い、マナーを日頃から身に付けておく。

#### (2) 実習中

移動手段は自転車及び公共交通機関を利用し、緊急なことがあれば実習担当者と教員に連絡をすることを忘れない。実習時間中は指導者の指示に従い、すぐに質問するように心掛け、実習生としてふさわしい態度で臨む。

#### (3) 注意事項

事前指導において指導されたことを守り、社会の一員としてふさわしい行動を取るように心掛ける。

### 【実績に関する情報】

①卒業生延べ人数：232名

②卒業生の進路の状況

・就職先の施設種別および就職者数

施設種別	人数
居宅サービス事業所等	12名
介護保険施設	109名
合計	120名

・進学先の学校種別および進学者数

学校種別	人数
4年制大学	37名
短期大学	17名
専門学校	43名
合計	97名

・その他：14名